

## 第4回定例会 一般質問登壇順

登壇順番	議席番号	氏名
1	8	高橋 宏
2	6	高橋 輝彦
3	1	刈田 敏
4	4	高橋 和子
5	2	北村 嗣雄
6	10	淀川 豊

# 一般質問通告書

令和 元 年 11 月 25 日  
 午前(午後) 3 時 5 分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
庁舎の在り方について	町では今、庁舎の在り方について方針を示し町政懇談会を開き、町民に説明している状況であるが、老朽化と財政難を理由に分庁舎制を続けるとしている。町の将来を左右する庁舎問題を、新庁舎建設も含めた十分な検討無しに整備計画を進めれば、町民の一体感も生まれず、町の将来に大きな不安を感じる。再検討も含めた町長の考えを伺う。	町長
除雪体制について	豪雪の町、西和賀にとって道路除雪は住民サービスの最優先課題である。その除雪体制においても、財政難と人手不足から今まで通りの除雪が難しくなっている。もはや、担当課だけで解決できる状態ではないと思うが、専門の職員を配置し冬場のシェアハウスの活用、県土木との協力体制、そして全職員を対象に除雪作業出動など実行すべきと思うが町長の考えを伺う。	町長

上記のとおり通告します。

令和 元 年 11 月 25 日  
 西和賀町議会議長 高橋 雅 一 殿



西和賀町議会議員  
 議席番号 8 番  
 氏 名 高橋 宏



①

# 一般質問通告書

令和元年 11月 27日

午前(午後) 3時 15分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
一、町の防災体制について	<p>① 近年全国いたるところで台風による土砂災害、地震災害など頻繁に発生している。いつ何時わが身に降りかかるやもしれない状況である。R1年10月20日川尻地区において、町の担当課や消防署の指導の下防災訓練が実施された。川尻地区では今まで実際に避難所への避難訓練はなかなかされていなかった。地区によってレベルの高い訓練を行っているところもある。全体的に地区の自主防災訓練のレベルを上げる必要があると考える。災害を想定した具体的な計画を伺う。</p> <p>② 今回の訓練において、川尻地区のハザードマップが改めて示されたが、これを見てがく然とした。7カ所の避難場所のうち5カ所が大雨(土砂災害)時に適さず、1カ所が新耐震基準に適していない。この状況は川尻地区以外の地域でもあるものと思われる。実際の災害時に住民はいったいどこに避難すべきかあらかじめ案内が必要である。それが本来のハザードマップの役割であってほしい。今後どのようにされるか。</p> <p>③ 発電機が備え付けられておらず停電時に告知端末が使えない避難所で、公民館や集会所となっているところは何カ所あるか。消防団無線のように情報がやり取りできる防災無線の配備が必要と考える。災害時情報が伝わらないことほど不安な事はない。優先順位はトップだ。どのように考えるか。</p> <p>④ 訓練ではAEDの使用訓練も行われた。AEDの町内配置マップは消防署のホームページで確認することができるが、まだ一部分である可能性があるとのこと。町独自の調査を行い、より良いAEDマップを作成しハザードマップと同様に町民に示す考えはないか。又、マップを紛失されないような工夫が必要である。考えを伺う。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和元年 11月 27日

西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 6 番

氏名 高橋 輝彦



②

# 一般質問通告書

令和元年 11 月 27 日

午前/午後 3 時 15 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
	⑤ 実際の災害時はもちろん自主防災訓練においても、避難者の誘導や情報や連絡のやり取り又それらを統括する等、リーダーの存在が複数名以上必要である。その養成をする考えはないか。	
二、町の高齢者福祉施設について	<p>① 町内の高齢者福祉施設は、多くの町民が職場として働いている。言わば町の大きな雇用の場として主産業といっても過言ではない。近年この職場が働き手の減少により危機に瀕している。全国的にもそのような現象になってきているわけだが、町内の高齢者福祉施設の状況や課題をどのように理解しているか。</p> <p>② ア、H30年3月第7期高齢者福祉計画等が3年計画で出されている。この計画を実現させるためには、先ず現場に土台となる働き手がいなければスタートしない。施設によってはすでに、外国人介護人材の導入を始めたところもある。国や県の事業を利用してのものであるが、果たして施設が求めているものにマッチしているのかどうか不安は残る。この事業の着手は施設の苦肉の策であろうと思う。この事業の課題は何であると理解しているか。</p> <p>イ、せめて町でもこの事業に寄り添い並行して、本当に求められている部分の支援が必要と思う。外国人労働者ご本人と、雇用する施設が苦勞している部分（日本語や介護技術の教育、住居等）を把握しているか。</p> <p>③ 高齢者福祉施設は、将来の町の大きな雇用の場としても重要なものである。町内の小中学生に対して、生命尊重の歴史とともに高齢者福祉の教育をしっかりと施すことは少なからず有意義なことに繋がる。どのように考えているか。</p> <p>④ 国では、介護予防施策を重点的に進めようとしている。これには全国で賛否両論意見が飛び交っている。当町では既に包括ケアなど取り組んでいるが、今後の姿勢を伺う。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和 元年 11 月 27 日

西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 6 番

氏名 高橋 輝彦



# 一般質問通告書

令和元年11月27日

午前/午後 9時5分受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
教育文化について	○西和賀町総合計画、目標2教育文化「地域に誇りを持ち、豊かな心を育てるまち」	町長 教育長
	・基本施策(1) 生涯学習の推進と環境の充実について ジュニアリーダー研修事業の状況と成果を伺う。	
	・基本施策(4) 地域の歴史や文化の継承と創造について 地域、学校等からも評価が高い中学生演劇講座事業の 状況と課題、今後の進め方について伺う。	
山村留学と農山漁 村体験学習について	○西和賀町議会は令和元年10月行政視察研修に長野県 泰阜村のNPO法人グリーンウッドへ伺い、山村留学と 山賊キャンプについて学びました。 『誰もが安心して暮らせる社会を創るために、わたし たちは「ひと」を育てます。』 言葉通り取り組みは衝撃的で感動するばかりでした。 泰阜村の児童生徒120人のうち20名が留学生、人口1,600人 の村で、夏休み中に1,000人の子供たちと300人のボラン ティアが訪れ、交流人口の増加につながっていました。 今回の視察研修で西和賀町で取り組める要素は十分に あると考えます。山村留学の具現化と国も省庁が横断的に 実施しようとしている子供農山漁村交流プロジェクトに 積極的に取り組むつもりはあるのか所見を伺います。	

上記のとおり通告します。

令和元年 11月 27日

西和賀町議会議長 高橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 1番

氏名 刈 田 敏



# 一般質問通告書

令和元年11月25日

午前/午後 9時10分受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
老人医療費助成制度について	<p>①本案件を西和賀町健康づくり推進協議会に諮問したと のことであるが、その経緯について、また諮問書の内容 について具体的に伺う。</p> <p>②年齢基準についてはどのような議論がなされたのか伺 う。</p> <p>③給付方式についてはどのような課題があったのか伺う。</p> <p>④国保補助金についてのペナルティとはどのようなもので、 金額はいくらになるのか伺う。</p> <p>⑤今後どのような日程で、どのように見直しを進めていく 予定か伺う。</p> <p>⑥町政懇談会の状況と町民の受け止め方はどのようなも のであったか伺う。</p>	町長
国保税における子どもの均等割減免につ いて	<p>6月議会において質問したが、そのときの答弁で「減免 対象の子どもは60人で、均等割総額は111万2,800円だ が、広域化して1年経過したばかりなので、2～3年経過 を見たい」とのことであった。しかし、どう考えても貯め こむ一方の基金を見るに、本来の国保会計のあり方から被 保険者に対し有効に使うべきと考える。2～3年も経過を 見る必要がないほど状況は把握されていて、この程度の支 出は困難ではなく、一日も早く取り組み、子育て世代の支 援をすべきと思うが、その所見を伺う。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和元年 11月 25日

西和賀町議会議員 高橋雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 4番

氏名 高橋和子



# 一般質問通告書

①

令和元年11月27日  
午前(午後) 4時40分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を 求める者
農業振興について	<p>今年3月議会定例会において、町長は施政方針演述要旨に「米の生産について需要を勘案しない生産拡大は米価の下落に直結することによって変わらないことから、引き続き適切な生産が行われるよう対策を進めて参る。」と述べられております。私はこのことについて6月議会での一般質問の中で質問、意見を述べておりますが、基幹作物である米の生産に係る町の基本ですので、改めて質問いたします。</p> <p>①町の示す米の生産目安について 米の生産について、現状示している適切な生産目安とは何か、具体的な説明を伺います。</p> <p>②町の示す今後の施策について 今年の町内の米の作柄と生産を把握して、今後の作付生産にどのような施策をされるのか伺います。</p> <p>③岩手県が示す生産方針に対する町の対応について 岩手県では県内の米生産について、次年度より既存の生産品種を維持し、県のオリジナル品種の生産、シェア拡大に取り組む方針を示していますが、町の示す生産目安と合わせて、どう対応するのか具体的な説明を伺います。</p> <p>④町の米の生産に対する町長の基本姿勢について 今後、町内の米農家に対しどのような施策で支援していくのか、町長の基本姿勢を伺います。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和元年11月27日

西和賀町議会議長 高橋 雅 殿



西和賀町議会議員

議席番号 2番

氏名 北村 嗣雄



# 一般質問通告書

②

令和元年11月27日  
午前(午後) 4時40分受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を 求める者
畜産振興について	<p>3月議会定例会における施政方針で述べられている施策について質問いたします。</p> <p>①労働力の軽減に対する町の取り組みについて 「酪農家の労働力軽減を目的として、自給飼料の生産と供給体制の整備を促進する。」と述べられておりますが、その取り組まれた内容について伺います。</p> <p>②支援強化した町の取り組みについて 「乳牛、和牛の飼養頭数の維持拡大を図るため、規模拡大志向農家等の支援を強化する。」とありますが、支援状況と強化した内容を伺います。</p> <p>③牛乳公社への町の支援について 「町の稼ぐ力を高めるため、乳製品製造施設の整備を支援する。」とありますが、支援内容について具体的な説明を伺います。</p> <p>④増頭拡大に結び付く支援施策について 減少する畜産農家が現状ある中において、規模拡大を目指す数少ない畜産農家もいます。確実に増頭拡大に結び付く強化支援施策はないのか、出来ないのか伺います。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和元年11月27日

西和賀町議会議長 高橋雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 2番

氏名 北村 嗣雄





# 一般質問通告書

令和 1年11月27日  
午前~~9時~~ / 時 35分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を 求める者
産業振興 について	<p>労働力・担い手不足に対する現状認識について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現状の各産業における労働力・担い手不足をどのように捉えているのか現状の認識と施策について伺う。(福祉・農業・観光・建設分野について)</li></ul> <p>地域の労働力・担い手不足解消の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現状の地域の各分野の民間事業者が取り組んでいる労働力・担い手不足解消策についてはどのように認識しているのか伺う。</li></ul> <p>特に福祉分野における、外国人労働者の雇用について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・複数の民間福祉施設で来春から外国人労働者が雇用される動きがあるが、行政としてどのように捉えているのか伺う。</li></ul> <p>今後、行政として取り組む労働力・担い手不足解消策について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・外国人労働者の雇用については労働者政策から地域で暮らす生活者としての視点にたった政策が重要ではないかと感じますが、どのように捉えているのか伺う。</li><li>・各分野における労働力・担い手不足解消対策における、外国人労働者の雇用に関して行政として各課個別の対応ではなく、移住定住といった視点から各課横断的な取り組みが必要と感じるが、その点について伺う。</li></ul>	町長

上記のとおり通告します。

令和 1年11月27日

西和賀町議会議長 高橋雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 10番

氏名 淀川 豊

